



教員を目指す学生が参加

東京学芸大学「学芸カフェテリア講座」

水の事故から命を守ろう～着衣水泳体験講座～

7月12日(水)、東京学芸大学「学芸カフェテリア講座」として、B&G 財団職員が講師となり、水辺の安全学習である『水の事故から命を守ろう～着衣水泳体験講座～』を開催しました。この取り組みは、東京学芸大学学生キャリア支援室が主催しているもので、「学芸カフェテリア講座」の中で水辺の安全学習が行われるのは、今年で2回目となります。当日は、東京学芸大学の屋外プールを会場に、教員を目指す学生30人が参加しました。



● 現在都内ではほとんどの学校でバディを導入



● Tシャツをバトンにした着衣リレーでは、水の中でも脱ぐことの難しさを体験



● スローバッグやペットボトルを使った救助体験

参加者の声

教育実習では、水泳の授業も受け持つことになっていますが、自分自身が水泳を習っていないので、何をすればよいか悩んでいました。今回の講座で受けたプログラムの中には、簡単に取り入れられそうなものもありましたので、実習で教えてみたいと思います。

大学と連携し公開講座も実施



日本体育大学公開講座

7月8日：親子5組10人参加

● お父さん・お母さんをペットボトルで助けよう！

背泳ぎやペットボトル浮きをはじめとするサバイバルスイム体験や、ペットボトルを使ったレスキュー、ライフジャケット体験などの水辺の安全学習や、スタンドアップパドルボード(SUP)等の海洋性スポーツも体験しました。

参加者の声

子供に水泳を習わせていますが、自分の命を守る方法についてはなかなか教えてもらう機会がないと思います。背泳ぎや身近なものを使って浮くなど、初めて知ったことも多く、ためになりました(保護者)



東京学芸大学公開講座

7月24日：小学生6人・保護者3人参加

● ライフジャケットを着用を学び、海や川で安全に遊ぼう

海や川などの身の安全を守るために、服を着た状態で水泳を体験することや着衣状態でのさまざまな泳ぎ方や万が一の際の救助法について、正しい知識と基礎的な技能習得を目指しました。

参加者の声

家族で海に行く際に、実はこれまで自分のライフジャケットがあるのに、持って行かなかった。これからはきちんと持参して、海でしっかり着ようと思う(小学生)

通巻319号

公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

【寄付のお願い】みなさまのご支援を、お願いいたします。

詳細はこちら！ www.bgf.or.jp

